

メ ッ セ ー ジ

全国福祉保育労働組合

東海地本名南支部 めぐみ保育園分会・しろつち保育園分会 御中

めぐみ保育園分会及びしろつち保育園分会の結成おめでとうございます。

みなさんが、園長のパワハラに屈せずに、働きやすい職場の実現と保育園運営の改善・正常化を求めて勇気を持って分会を結成されたことに敬意を表するとともに、福祉保育労を代表して心から歓迎し、激励と連帯のメッセージをお送りします。

福祉・保育の仕事はやりがいがあり、高い専門性が求められる仕事です。しかし、いま福祉職場では、「賃金が低くて働き続けられない」「職員を募集しても応募がない」という人材不足が深刻で、命を守ることもさえ困難です。また、パワハラや労働基準法違反、不透明な経営などが広がり、それが原因で職場を離れていく労働者も後を絶ちません。

私たち福祉保育労は、労働者が希望を失わずに元気に働き続けられることをめざして、労働条件改善と法令遵守を経営者に求めています。また、福祉制度の改善と「実効性のある福祉人材確保対策」を国に求めて運動しつつ、保育士等処遇改善臨時特例事業の実現など一定の成果をあげてきました。

しかし、政府は集団的自衛権行使を容認する閣議決定をおこない「戦争のできる国」への道を踏み出し、社会福祉分野においては「自助・自立」を強調し、国民に自己責任を押しつけています。また、来年度からは介護報酬の引き下げを強行しようとしています。

福祉保育労の全国1万2千人のなかまは、「自己責任ではなく国の責任で生存権を保障すること」、「賃金・労働条件を大幅に引き上げて福祉人材確保を図ること」、「公費で福祉の基盤整備をすすめること」を求めて、本日(3/6)全国の仲間100人以上で中央行動を行い、厚生労働省交渉や国会議員要請や記者会見(福祉労働者の賃金・労働実態・健康調査結果)を行いました。

めぐみ保育園分会及びしろつち保育園分会のみなさんが、職場の中で仲間を増やして団結を強め、地域にしっかりと根を張り、保護者から信頼され、そして「誇りと喜び」を感じて仕事ができるように活動されることを私たちも応援していきます。

東海地本や全国の仲間と一緒に、賃金・労働条件改善と福祉制度拡充の運動を大いにすすめていきましょう。

2015年3月6日

全国福祉保育労働組合

中央執行委員長 多久和 令一